

第38回高エネルギー加速器研究機構経営協議会議事要録

日 時 平成25年12月26日（木）13時30分～15時40分

場 所 八重洲富士屋ホテル3階「赤松の間」

出席者 潮田、小谷、高畑、瀧澤、深澤、福山 各委員
鈴木（厚）、野村、岡田、峠、山内、山田、生出、伴、齊藤、清家 各委員
（欠席者 佐藤、新竹、武田、西島 各委員）

陪席者 住吉理事、岩崎監事、磯部監事、塩原総務部長、片田財務部長、篠原研究協力部長、大山施設部長、池田参事役、勝田総務課長、小林人事労務課長、櫻井企画課長、藤川主計課長、安田施設企画課長

配付資料

1. 第37回高エネルギー加速器研究機構経営協議会議事要録
2. 平成25年度補正予算（第1号）[経済対策]対象予定事業一覧
3. 平成26年度概算要求概要
4. 平成24年度業務実績に関する評価結果
5. 「KEK ロードマップ2013」について
6. J-PARC 放射線漏洩事故 その後の対応と運転再開への取り組み
7. 職員退職手当規程等の一部改正について
8. 職員給与規程の一部改正について
9. 平成26年度機構内予算の編成について（案）

参考資料

- ・財務諸表の解説（平成24年度）ダイジェスト版
- ・基礎データ集（平成25年12月）

議事に先立ち、鈴木議長から開会の挨拶があった後、勝田総務課長から配布資料の確認が行われた。

議 事

1. 議事要録

鈴木議長から、資料1に基づき、第37回議事要録については、既に電子メールで確認及び了承いただいたとおりである旨の説明があった。

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度補正予算について

野村委員から、資料 2 に基づき、平成 25 年度補正予算について報告があった。

(2) 平成 26 年度概算要求の概要について

野村委員から、資料 3 に基づき、文部科学省より内示があった平成 26 年度概算要求の概要について報告があった。なお、鈴木議長から、平成 26 年度末には SuperKEKB の運転が開始となる中、事業計画を見直さなければならないほどの非常に厳しい予算状況であり、今後対応策を検討しなければならないとのコメントがあった。また、消費増税への対応、特別予算についての質疑応答があった。

(3) 平成 24 年度業務実績に関する評価結果について

峠委員から、資料 4 に基づき、平成 24 年度業務実績に関する評価結果について報告があった。なお、本評価結果を受けて、寄附金に関する内部規定の整備・放射線等に関する危機管理体制及び安全文化醸成のための取り組みを既に行っているとのコメントがあった。

(4) KEK ロードマップについて

岡田委員から、資料 5 に基づき、KEK ロードマップ 2013 の策定経過、内容等について報告があった。なお、報告の過程で以下のような質疑応答があった。

[○：委員からの主な意見・質問、→：機構側からの回答]

○実験設備を充実させることばかりが記載されている印象を受ける。対象となる研究分野においては何が重要とされており、どういったことを目指していくのか、目指すものの先には何があるのかを記載する必要があるのではないか。

○実験設備をどうするかも大切だが、理論分野で先導していくべきではないか。

○実験的にエネルギーを上げていくには限界があると思うが、どこまで可能か見極めているのか。

○KEK は大学共同利用機関であるため、コミュニティの意見に基づいて研究を進展させている。

○エネルギーフロンティア・ルミノシティーフロンティアを見据えて、将来に向けて新しい手法を考えていく必要がある。

○議論になっている放射光施設について、産業利用が高く、海外では既に作られているとのことであれば、早く作るべきではないか。

○ロードマップに記載されている事項の優先順位はどう決めるのか。

→財政状況を踏まえて、研究の重要性を判断した上で決めることになる。

→財政的な面だけでなく人的資源という面も考慮する必要がある。世界的に見ても KEK は少ない人数でたくさんの加速器を動かしている状況である。

→大きなプロジェクトを今後も実施していくためには、大学の教員と一体となって運営していく手法も考えていく必要がある。

○人手不足を解消するために他の機関と連携するべきではないか。

→施設間の人の交流を検討している。

○クロスアポイントメント・共同雇用を実施するべきではないか。

(5) J-PARC 放射線漏洩事故 その後の対応と運転再開への取り組み

齊藤委員から、資料 6 に基づき、J-PARC 放射線漏洩事故に関する前回会議以降の対応と運転再開への取り組みについて報告があった。

3. 審議事項

(1) 職員退職手当規程等の一部改正について

野村委員から、資料 7 に基づき、職員退職手当規程・役員退職手当規程の一部改正について説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 職員給与規程の一部改正について

野村委員から、資料 8 に基づき、職員給与規程の一部改正について説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 平成 26 年度機構内予算の編成について

野村委員から、資料 9 に基づき、平成 26 年度機構内予算の編成方針について説明があり、審議の結果、了承された。

4. 自由討論

今回は時間の都合により自由討論を行うことができなかったが、次回の自由討論でロードマップ・機構の機能強化（ミッションの再定義）についての議論を行いたいとの発言が鈴木議長よりあった。

5. その他

次回経営協議会については、平成 26 年 3 月 24 日（月）13 時 30 分から八重洲富士屋ホテル 3 階「赤松の間」にて開催することとした。

以上